

科目名	室内楽B（実技）		科目ナンバー	MU-MA3315		
担当者 （実務経験名）	特任教授 木下 圭子 教授 桑原 哲章 鶴田 智子 野口 誠司 准教授 安村 真紀 吉田 あかね （演奏家）					
履修期	専攻科 後期			卒業単位	必修 2単位	
免許・資格						
授業概要	ステージ上での演奏効果を考え、演奏できるようになる。					
到達目標	知識・理解	様々な楽器の特性を理解できるようになる。				
	思考・判断	アンサンブルの練習方法を考えることができるようになる。				
	興味・意欲・態度	相手の意見を尊重し、曲の完成を目指すことができるようになる。				
	技能・表現	演奏会を目標に、高度な演奏表現ができるようになる。				
授業計画	授業内容			事前事後学習内容		時間 （時間/週）
	1	ガイダンスと演奏曲研究		研究したい作品名を調べてくる。		4
	2	アンサンブル・作品研究 1 構成		個人練習を重ね、メンバーと練習する。		4
	3	アンサンブル・作品研究 2 技術		個人練習を重ね、メンバーと練習する。		4
	4	アンサンブル・作品研究 3 作曲者		個人練習を重ね、メンバーと練習する。		4
	5	アンサンブル・作品研究 4 呼吸		個人練習を重ね、メンバーと練習する。		4
	6	アンサンブル・作品研究 5 バランス チラシ作成		個人練習を重ね、メンバーと練習する。		4
	7	アンサンブル・作品研究 6 演奏法 チラシ作成		曲目解説を準備する。		4
	8	アンサンブル発表 1 前半まとめ		担当分担を決めておく。		4
	9	アンサンブル・作品研究 1 構成		個人練習を重ね、メンバーと練習する。		4
	10	アンサンブル・作品研究 2 技術		個人練習を重ね、メンバーと練習する。		4
	11	アンサンブル・作品研究 3 作曲者		個人練習を重ね、メンバーと練習する。		4
	12	アンサンブル・作品研究 4 呼吸		個人練習を重ね、メンバーと練習する。		4
	13	アンサンブル・作品研究 5 バランス プログラム企画		個人練習を重ね、メンバーと練習する。		4
	14	アンサンブル・作品研究 6 演奏法 プログラム作成		曲目解説を準備する。		4
	15	アンサンブル発表 2 ディスカッション		担当分担を決めておく。		4
成績評価方法		知識・理解	思考・判断	興味・意欲・態度	技能・表現	評価割合
	筆記試験					
	レポート	○	○	○		30%
	課題	○	○	○	○	60%
	実技					
	受講状況・態度		○	○		10%
	その他（ ）					
フィードバックの方法	課題や練習方等を口頭と実演で伝え、フィードバックを行う。また、アンサンブル発表1、2では、講評によりフィードバックを行う。					
教科書	各教員より指定された楽譜を使用してください。					
参考書	無し。					
アクティブ・ラーニング	アンサンブル発表1、2では、曲目研究結果を発表し、演奏についてディスカッションを行います。					
ICT活用	無し。					
メッセージ・備考	個人練習が重要です。相手のパートも勉強してください。教員は演奏経験を活かしレッスンをを行います。					
関連科目	専修実技、音楽実習、音楽史各論、和声					